

令和元年度 第1回那須塩原市男女共同参画審議会 会議録（概要）

日 時 令和元年7月16日（火） 午後2時00分～4時00分

場 所 那須塩原市役所 303会議室

出席委員 陣内会長、柳場委員、笹川委員、阿見委員、齊藤委員、鈴木委員、和気委員、菊地委員、
渡部委員、橋本委員、横山委員、森田委員、大藏委員 以上 13名

欠席委員 大野委員、渡辺委員、石川委員、島田委員 以上 4名

那須塩原市 渡辺市長、藤田企画部長

事務局 大澤市民協働推進課長、大森課長補佐兼男女共同参画係長、荒川

【議事】

1 開 会（大澤課長）

2 あいさつ

（渡辺市長）

アメリカの様に様々な人種が暮らす多様性に比べ、日本は人種が単一であり、政治の世界でも女性は、遅れていると感じる。男対女の男女論争となるのではなく、男女が互いを認め合う多様性が必要である。

委員の皆様には、忌憚の無い御意見をいただき、市政に反映させていきたい。

（陣内会長）

男女共同参画は人権の話である。だからこそ、地域に密着した所から、より良い男女共同参画に取り組んでいく必要がある。

3 委員自己紹介（各委員、事務局）

・省略

4 議 題

（1）男女共同参画行動計画の平成30年度年次報告について（報告）（進行：陣内会長）

<資料に沿って説明（要旨）>（事務局）

第3次那須塩原市男女共同参画行動計画年次報告書は、本市の男女共同参画社会の形成状況を把握するために、p1基本理念に基づき、92の事業について、各担当課からの自己評価の報告をまとめた。p3計画の指標と目標値について、36の指標のうち8つの指標は、目標値を達成している。

p9からp47までは、基本目標ごとの事業の実施状況となっており、各課の取組み状況は92の事業の内89の事業において、達成された又は概ね達成されたとの評価であり、全体としての推進状況は概ね良好であると考えられるが、若い男性への意識啓発に取り組む必要がある。事業番号33は2課で実施した。A評価では、デートDV防止パンフレット配布による市内中学3年生に啓発等、C評価では、がん検診受診者数が減少しており、特に40歳代の受診者数が約半数に減少した。

年次報告書については、市のホームページや男女共同参画広報紙「みいな」等で市民に公表する。

<質疑応答・意見等（要旨）>

Q. A から E までの評価基準だが、数値的に評価が担当の自己評価だから、悪い評価を下しづらいのではないかと。事務局が確認することはできないのか。担当課によっても違うから、明確にした方が良いのでは。【渡部委員】

O. 昨年度も同じ意見が出ていた。次年度考えますと言うではなく、検討をしてほしい。【森田委員】

A. 昨年度より数値が増えている、もしくは昨年度と同様なら B 等、評価を下している。外部評価も含め、今後方法を検討していく。【事務局】

O. p 19 から 20 「セクハラ」や「LGBT」について、25 と 26 が平成 29 年度と一語一句違わない。全く同じ評価と課題である。何か一つでもアクションがあれば良かった。【森田委員】

A. 今後市の職員向けの研修など、課題として取り組んでいく。【事務局】

O. 今後に期待している。【陣内委員】

Q. p 4 「思春期保健事業の実施中学校数」について、中学校からでは間に合わないのではないかと。小学校高学年からの性教育が必要ではないかと。【笹川委員】

Q. 栃木県男女共同参画地域推進員で、小学生にも教育できないかと。【柳場委員】

O. 小学校では、担任や養護教員による男女の体の違いについて等の教育は、小学一年生から実施している。【齊藤委員】

A. 現在の計画では、思春期の中高生が中心であるため、次年度計画では、見直して小学校高学年からと担当課へ助言していきたい。【事務局】

（2）市の審議会等における女性委員の登用状況について（報告）（進行：陣内会長）

<資料に沿って説明（要旨）>（事務局）

第 3 次那須塩原市男女共同参画行動計画では、「審議会における女性委員の割合」について 33 年度の目標値を 40% と掲げている。令和元年 5 月 1 日時点で、審議会等における女性委員の割合は、29.5% であった。令和元年度の目標値を 35.0% としたが、審議会等の委員の構成については、それぞれの規定があり、一律に女性委員の登用目標値を 35.0% とするのは、なかなか難しいことだが、あて職によらない委員の選考や選出区分の見直しなどにより、女性が選出される可能性が高まる。女性の意見を様々な分野で反映させるためにも、女性委員の登用率の向上に向け、各部署へ働きかけを行っていく。

<質疑応答・意見等（要旨）>

O. 過去 5 年、10 年でグラフで変動を示してほしい。景観審議会に女性が入っていない。ダイバーシティが全く無い。0 はありえない。【陣内委員】

O. 空き家対策審議会にも女性がいらない。不動産産業の女性を入れないのか。市内ではメゾネットタイプのアパートや、戸建て、分譲地が増えたが、人口は増えていない。新しい家を建てて、古い家は残っていき、空き家が増えていく。空き家の活用に女性の意見を入れる必要がある。【笹川委員】

O. 女性がやめたら女性を入れる等、選ぶ側が意識して選ばないといけない。選ぶ側の意識改革を。【鈴木委員】

Q. 女性委員が入らないといい意見が入らない。規約に女性を入れるように 1 文を入れてみてはどう

か。毎年意見を出しても、改善されないのであれば、審議会の意味がない。【柳場委員】

A. 各課に働きかけを行っていく。【事務局】

(3) 男女共同参画社会に関する市民意識調査について（報告）（進行：陣内会長）

<資料に沿って説明（要旨）>（事務局）

那須塩原市における男女共同参画社会の形成状況や市民の意識を明らかにするとともに、「第3次那須塩原市男女共同参画行動計画」に生かしていくため、平成30年度に市民意識調査を実施した。

調査期間は平成30年10月15日から31日まで、調査対象は20歳以上の市民から男女各1,000人、合計2,000人を抽出した。調査方法は郵送による調査用紙送付、回答及びインターネット回答とした。

p13「男は仕事、女は家庭」といった性別による役割を固定する考えを持つ人の割合は、調査ごとに改善されてはいるが、課題が多いと考えられる。p42夫婦間における「平手で打つ」を暴力として認識する人の割合は、改善傾向にあるものの、目標達成には至らなかった。

<質疑応答・意見等（要旨）>

Q. 意識調査の全体像、市としての総評はないのか？【渡部委員】

A. 基準と強調したい点については、各項目ごとにまとめている。A3用紙1枚程度でまとめることを検討する。【事務局】

O. 3世代同居なのか、3世帯同居なのか。【笹川委員】

A. 3世代が正しい。【事務局】

O. 今年は行政に厳しい意見が多い印象である。自由記入欄について、何歳の人を書いたのかわかるとよいのではないか。調査結果を見ると、保守傾向にあると感じている。市長が30歳台になった。スピード感を持って変えていくと思う。新幹線が停まり良い立地であるにも関わらず、実際は古臭いではマイナス効果である。子育て世代を呼び込みたいのであれば、そこを変えていかなければならない。【笹川委員】

O. p55「みいな」を全く知らない人に対して、施策が伝わるような方法はないか。【森田委員】

Q. 調査は何年後に活用するのか。アンケートしてから活用するまでが遅いのではないか。【和気委員】

A. 前回は27年度に実施し、みいなで結果を報告した。今回も9月5日号のみいなで報告する。【事務局】

O. 行政は計画ベースで動いているため、調査をしてもすぐに活用が難しい。調査結果について、20代の男性が特に保守的になっていると感じる。若い男性に発信していく必要があるのでは。【陣内委員】

O. 調査は無作為抽出であるとあるが、女性の方が多い。督促の方法等を検討した方がいい。前回調査から数値が下がっているものも多い。がん検診の受診率が少なくなっている。大事なことであるから、もう少し考えて取り組んで欲しい。【菊地委員】

O. 評価の方法で、外部団体に依頼するものもあるが、自己評価であっても、ひいきするようなものではない。資料1は議題にしないでもいいのではないか。市内でも216自治会の女性自治会長は8人のみである。【橋本委員】

- O. 市内小学校のPTA会長で女性は1人であるが、PTA役員になると10人中男性は2人位であり、行事に出てくるのは、9割は女性である。しかし会長を務めるのは男性である。女性が入ると変わるということや、実例をアピールしていくことが必要ではないか。【横山委員】
- O. p55「市で取り組んでいる男女共同参画施策を知っていますか」の問いに対して、全く知らない61.1%を改善していかなければいけない。市の広報やみいなに目も通さない人がある。小学校高学年の授業に取り入れたらどうか。【大藏委員】
- O. 小学校では、男女平等については一步踏み込んで、一緒に社会を作っていくということを指導している。学校教育では、子供に啓発ができて、大人には広がっていかない。【齊藤委員】
- Q. みいなを全戸配布にするのはどうか。【鈴木委員】
- A. 各戸配布している。【事務局】
- O. 全戸配布にしても、若い人は見ない。もっと効果的な広報が必要。【橋本委員】
- O. スーパー等にあってもいつでも見ることができるのも大事である。【笹川委員】
- Q. 病院の待合室に置いてあるといいのでは。【橋本委員】
- A. 病院に配布を始めた。【事務局】
- O. 美容院やカフェに置いてあってもいい。編集委員に高校生を参加させるのはどうか。【陣内委員】

5 閉 会（大澤課長）

以上

【配付資料】

那須塩原市男女共同参画審議会委員名簿

資料1：「市の審議会等における女性委員の登用状況」について
市の審議会等における女性委員の登用調査票
(地方自治法202条の3に基づく審議会等)

資料2：男女共同参画社会に関する市民意識調査実施要領

資料3：男女共同参画社会に関する市民意識調査

資料4：「第3次那須塩原市男女共同参画 平成29年度～平成33年度」
正誤表

資料5：男女共同参画広報紙「みいな」6月5日号

【事前に配布した資料】

■ 第3次那須塩原市男女共同参画行動計画

■ 第3次那須塩原市男女共同参画行動計画 年次報告書